

涌泉寺だより

「一生空しく過ごして

万歳悔ゆる事なかれ」

富木殿御書)

具が搬入されていますが御宝前の大きさが随分と違ったよう
で涌泉寺の御宝前をご覧いただくとかかなり窮屈に感じる方も
いらっしやるのではないのでしょうか。他の寺院と見比べてい
ただくと余裕がないのがお分かりいただけだと思います。
寺院の合併や移転はいつの時代でもありますが、小学校に
引き渡すという決断は当時の住職でしか分かりえない苦労が
あったと思います。どのような未来を想像し、決断をされた
のでしょうか。日蓮聖人のお考えになられた 立正安国」の
考えに沿って本当に今するべきことをなされたのだと思いま
す。

平成三十年は涌泉寺百周年です。松ヶ崎 一村改宗から数え
ますと七 一二年になります。京都日蓮宗最古のお寺として続
いていますが百年前に妙泉寺と本涌寺が合併するときには、
大変なご苦労があったと想像します。妙泉寺を松ヶ崎小学校
に引き渡すという決断、佛像佛具、建物、墓地の移転等これ
ら以外にもたくさんの方があったかと思えます。

本涌寺にはお檀家さんはありませんので墓地はありません。
現在東墓、新墓がある場所は本涌寺に勉強に来ていた僧侶の
宿舎があった場所です。お檀家さんの協力があり、また当時
移転に際し井手さんという方が多額の資金援助をして下さっ
ていると聞いています。

本涌寺は大正七年頃は無住の状態です。妙泉寺の佛像、佛

具が搬入されていますが御宝前の大きさが随分と違ったよう
で涌泉寺の御宝前をご覧いただくとかかなり窮屈に感じる方も
いらっしやるのではないのでしょうか。他の寺院と見比べてい
ただくと余裕がないのがお分かりいただけだと思います。
寺院の合併や移転はいつの時代でもありますが、小学校に
引き渡すという決断は当時の住職でしか分かりえない苦労が
あったと思います。どのような未来を想像し、決断をされた
のでしょうか。日蓮聖人のお考えになられた 立正安国」の
考えに沿って本当に今するべきことをなされたのだと思いま
す。



敬憶院本堂内

お知らせ

涌泉寺第四十三世第十七回忌法要

本年は第四十三世修妙院日宏上人第十七回忌でした。10月8日に立本寺貫主様や松ヶ崎法縁のお上人、総代堂講様、地元お檀家の皆様、更には親族出席の下、十七回忌の法要をお勤め致しました。当日は華光寺住職浅野耀泰上人に導師、妙堯寺住職浅野泰徳上人に副導師をお願いし、日宏上人の増圓妙道をご回向していただきました。

涌泉寺百周年記念事業

百周年記念事業にたくさんのご賛助賜り誠にありがとうございます。お陰をもちまして、七面宮覆い屋改築工事を執り行う準備に入ることが出来ました。

11月に本殿の工事でもお世話になりました細見工務所様と契約を交わし、12月16日には安全祈願を細見工務所様、総代堂講様出席の下、執り行なわせていただきました。

安全祈願の後席では細見工務所様が、熊本城天守閣の工事をされていることをお聞きし驚きました。しっかりとした技術の方に工事を行っていただけることにとても感謝しております。

来年3月の完成を楽しみにしております。また来年5月には記

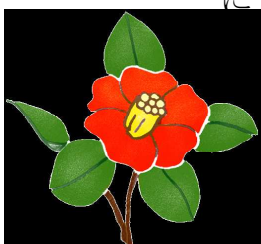
念法要を執り行う予定です。皆様のお参りをお待ちしております。どうぞよろしくお願いいたします。

身延山・七面山団参

8月26・27日の日程で身延山・七面山の団体参拝を行いました。初日は身延山参拝コースと七面山参拝コースに分かれて身延山の方は本遠寺や上澤寺を参拝、清水房に宿泊し翌朝久遠寺の朝勤に参列いたしました。七面山の方は敬慎院までの50丁を登り敬慎院に参籠しました。翌日昼前に合流、下部ホテルで温泉に入り昼食をいただき、身延山久遠寺祖师堂で御開帳を受け帰路に着きました。七面山に全員無事登れましたこと感謝しております。ご参加ありがとうございました。

本堂屋根修理工事了

昨年本堂北側の垂木が3本程折れていることが判明しましたので8月17日より文化財保護課の補助を得て修理させていただきました。これでしばらくの間は雨漏りは大丈夫ではないかと思えます。一日でも長く持つてくれることを願っております。



平成29年12月号